

令和6年度
(2024年度)

健康福祉部の取り組み

<部長の方針・考え方>

子どもからお年寄りまで、全ての市民が、“枚方市”でいつまでも心身ともに健康で安心して暮らせるよう、所属職員一丸となり、福祉事務所・保健所とも協力しながら、様々な健康福祉施策に積極的に取り組みます。

また、その目的の達成に向け、職場におけるコミュニケーションを重視し、活発な意見交換ができる楽しく明るい職場風土を醸成するとともに、本市の置かれている状況を把握できるよう情報共有に努めるなど、所属職員が能力を遺憾なく発揮できる職場環境を目指します。

<部の構成>

健康福祉政策課
健康福祉総合相談課
介護認定給付課
健康づくり課
福祉指導監査課
臨時給付金課

<主な担当事務>

- (1) 健康・医療・長寿・福祉に関すること。
- (2) 健康福祉相談に関すること。
- (3) 介護認定業務・介護保険給付に関すること。
- (4) 健康づくりに関すること。
- (5) 福祉関連法人・事業者の指導監査等に関すること。
- (6) 臨時に支給する給付金に関すること。

重点的な取り組み：誰もが安心して暮らすことのできる住み続けたい地域づくり

地域福祉を取り巻く状況の変化等を踏まえ、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、一人ひとりが生きがいや役割をもち地域をともに作っていく「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを深化・推進するため、「地域福祉計画（第5期）」を策定します。また、災害発生時に「防ぎえた災害死」を最少とするため、拠点応急救護所の開設訓練等を実施するほか、新興感染症等の発生に備えるため、国・府の動きを踏まえ、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定に向けた検討を進め、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組みます。

重点的な取り組み：重層的支援体制のさらなる推進と相談支援体制の充実

誰ひとり取り残されない社会の実現をめざし、複雑化・複合化した事案に対し、円滑に支援できるように支援機関が参加する重層的支援会議を開催し、緊密な連携のもと必要な方へアウトリーチを実施するなど支援の充実を図ります。

あわせて、既存のネットワークを活用した、より一層の重層的支援の充実を図るため、事例の報告や福祉課題の共有などを通じ、必要な支援策の検討を行うなど、相談支援体制のさらなる充実を図ります。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
相談を通じて問題解決につながった割合 【算出式：対応完了件数/（当該年度の新規相談件数+昨年度の継続件数）】	100%	90.7%

重点的な取り組み：認知症基本法の理念等を踏まえた認知症支援施策の推進

【施策シート：09—01】

令和6年1月に施行された「認知症基本法」を踏まえ、認知症の人やその家族の視点や意向を尊重しながら、地域包括支援センターや医療機関等の相談支援機関との連携体制の充実に努め、

認知症に関する「正しい知識の普及」と予防を含めた認知症への「備え」に取り組みます。

あわせて、大阪精神医療センターと認知機能の低下の早期発見のためのスクリーニングとして実施している「シニアのための脳力チェック健診」を継続して行うとともに、身近な場所で「ひらかた脳活教室」を開催し、日常生活の中で継続的に取り組みを実践できる仕組みづくりの充実に努め、早期発見と予防のための取り組みを進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
認知症サポーター養成講座の参加者数（累計）	29,200人	28,729人
「ひらかた脳活教室」の参加者実人数	100人	75人

重点的な取り組み：孤独・孤立対策の推進について

【施策シート：06-02】

孤独・孤立の問題を抱える当事者や家族等へ包括的な支援情報の提供につなぐことができるよう、早期に「福祉サービス検索システム」を運用するとともに、利用の状況についての分析を行い、より効果的な支援情報の発信に取り組みます。

あわせて、全庁的な課題認識や「自分事」として捉える意識醸成を図るため、「枚方市孤独・孤立対策推進本部」を設置し、孤独・孤立対策に対する認識や課題の共有化を図りながら、具体的な取り組みについて検討を進めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
福祉サービス検索システムを利用した人のうち、支援やサービスにつながった割合、及び問題解決に向かった割合	50%	—

重点的な取り組み：生活困窮者等就労準備支援事業における成果連動型民間委託契約方式（PFS）の活用

生活困窮者等を対象に、就労の前段階として必要な社会的能力の習得や就労体験を通じた訓練など、就労に向けた準備としての基礎能力を形成するための支援を行うため、成果連動型民間委託契約方式（PFS）を用いた「就労準備支援」を進めます。成果指標としては、就労という結果のみを成果とするだけでなく、就労に向け利用者の状態が改善した場合についても評価の対象とするなど、民間活力が十分に発揮され、より実効性のあるものとなるよう取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
生活困窮者等就労準備支援事業利用者のうち、支援開始時と比べて、自立状況が改善に向かった人の割合	50%	—

重点的な取り組み：からだの健康の増進

【施策シート：06—01】

令和6年3月に策定した「第3次枚方市健康増進計画」、「第2次枚方市歯科口腔保健計画」、「第4次枚方市食育推進計画」に基づき、胎児期から高齢期に至るまで、生涯を経時的に捉えた健康づくり（ライフコースアプローチ）の推進を図り、健康寿命のさらなる延伸をめざします。

また、生涯にわたる切れ目のない歯科検診の機会を確保するため、歯周病検診の対象を若い世代に拡充し、20歳～70歳（5歳刻みの節目年齢）を対象に歯周病検診を実施します。さらに、がん対策を総合的に取り組むために、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの予防・早期発見、がん患者の支援の充実等に向け、大学や企業等とも連携してがん対策を推進します。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
大腸がん検診受診率	7.7%	6.2%
歯周病検診結果で要治療者（治療が必要な人）が、重症化予防のために治療を受けた割合	92%	86.9%

重点的な取り組み：高齢者の社会参加の推進

【施策シート：09—03】

常設サロンとして人が集まり様々なプログラムを提供している「街かどデイハウス」に、新たな「介護予防拠点」として「街かど健康ステーション」を設置します。「街かど健康ステーション」では、ノルディック・ウォーキングの指導員資格を有するスタッフによる体験講座や、オンライン介護予防教室の体験ができる教室を開催するなど「個別支援」を進めるとともに、健康管理の観点から地域で活動している自主グループの参加者に対して体力測定を実施するなど、「自主グループへの活動支援」に取り組むなど、さらなる高齢者の社会参加の促進に努めます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
高齢者居場所など集いの場の参加率（活動実績を求める高齢者居場所と街かど健康ステーション事業等の実参加者／高齢者人口）	8.0%	5.8%

重点的な取り組み：市民の健康づくりを後押しする「ひらかたポイント制度」のさらなる充実

【施策シート：09—02】

歩数に応じたポイント付与機能が市民の健康づくりの後押しとなるよう、新たに歩数連携機能を備えたひらかたポイントアプリのさらなる周知に取り組むとともに、高齢者へのアプリ導入サポートの機会の増加に努めます。

また、取得したポイントを様々な場面で利用できるよう、キャッシュレスポイントへの交換の検討を進めるなど、ポイント制度の幅広い仕組みづくりに取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
ひらかたポイント利用者登録数	75,000人	72,649人

重点的な取り組み：要介護（要支援）認定事務の効率化

高齢化の進展に伴い、新規の要介護（要支援）認定申請件数が増加する中、認定に要する日数が法定の30日を上回っていることから、速やかに認定が行えるよう、効率的・効果的な事務の検証及び改善を行い、認定に要する日数の短縮に取り組みます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
認定に要する日数	30日	37日

重点的な取り組み：福祉施設等の安定的な運営に向けた指導監督の実施

介護保険事業、障害福祉事業及び障害児通所支援事業の健全かつ円滑な運営を図るため、事業者への集団指導等の実施により、サービスの取り扱い、制度改正、虐待防止等の周知に取り組みます。あわせて、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につながるよう指導監督を行い、福祉サービスの向上を図ります。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
集団指導の受講率（WEB上の資料を確認）	100%	86.11%（介護保険事業者等） 71.97%（指定障害福祉サービス事業者等）
社会福祉法人・施設指導監査説明会の受講率（動画視聴）	100%	100%

重点的な取り組み：物価高騰における生活困窮者等への支援

国の交付金を活用し、エネルギー・食料品価格高騰等の影響を受けた生活者の支援を目的とする事業として、今年度に新たに住民税非課税となる世帯又は均等割りのみ課税となる世帯、低所得の子育て世帯、定額減税しきれないと見込まれる方への給付金の支給を円滑に実施します。